



## 年頭のごあいさつ

岡谷市長 林 新一郎

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた初春を健やかに迎えにいられたことと、お慶び申しあげます。

また、平素は市政運営に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年は「岡谷太鼓道場」、岡谷健康福祉施設「ロマネット」、「ララオカヤ」、「絹工房」のリニューアルオープンや、あやめ保育園、まゆみ園、福祉作業所の建替えなどの施設整備を行ったほか、長年の夢であった国道20号・142号バイパスの同時開通や、丸山橋架け替えに伴う田中線の供用開始など都市基盤の整備も行うことができました。

また、御柱祭が行われ「諏訪はひとつ」に大いに盛り上がりましたが、合併につきましては、今回も実現できず大変残念な結果となりました。

しかし、合併できなかつたからといって市政の停滞は許されることではありませんので、更なる創意、工夫、努力により英知を結集し、夢のある新たなまちづくりを

努めていくことが、これからの私に課せられた使命だ  
意を新たにしております。

本年は、岡谷市が合併せずに自立の道を歩むスタート  
の年として大変重要な年であるとともに、将来都市像を  
「人と自然が共生する健康文化産業都市」とした第3次  
岡谷市総合計画の後期基本計画の2年目となることか  
ら、自己決定・自己責任の原則のもと、市民本位の市政、  
独自性のある本市の特色を活かした施策の推進をしてい  
かなければなりません。

本市の財政状況は、生産人口の減少による税収減や三  
位一体の改革による地方交付税の減額等、ますます厳し  
くなる見通しであり、これまで以上に行財政改革を推進  
していく必要があります。

現在、行財政改革プランの策定に向け、すべての事務  
事業の見直しを行うなど準備を進めており、今後は、仮  
称ですが「行財政改革プラン策定市民会議」を立ち上  
げ、市民の皆様のご意見をお聴きしながら、市民の皆様  
と行政の協働によりプランを策定してまいりたいと考  
えております。

また、昨年制定した「市民総参加のまちづくり基本条  
例」の精神を活かし、活気に満ちた将来に夢が持てる  
「わくわくするまち」を、市民総参加で築き上げるとと  
もに、新潟中越地震等を教訓に、有事に備え避難施設で  
ある小学校体育館の耐震改修工事を18年度までに実施す  
るなど、安全安心のまちづくりにも意を配してまいりた  
いと考えておりますので、より一層のご支援とご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。

輝かしい新年の幕開けにあたり、この一年の皆様方  
ご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、年頭のごあい  
さつとさせていただきます。